JVC KENWOOD
creates excitement & peace of mind

JVCケンウッド　決算補足説明資料
2014年（平成26年）3月期　第1四半期

株式会社JVCケンウッド

2013年7月31日

Copyright © 2013 JVC KENWOOD Corporation.　All rights reserved.

JVC KENWOOD Corporation

JVC KENWOOD
creates excitement & peace of mind

【資料中の略語】

CE　：カーエレクトロニクス（事業）

PS　：業務用システム（事業）
　　COM：無線機器（事業）
　　BS　：ビジネスソリューション（事業）

HM　：ホーム＆モバイルエレクトロニクス（事業）
　　音響　：音響機器（事業）
　　映像　：映像機器（事業）

SE　：エンタテインメント（事業）

2014年3月期　第1四半期決算　サマリー

JVC KENWOOD
creates excitement & peace of mind

＊為替変動による円換算額の増加や、
前年のタイ洪水の影響から回復したPSが増収。

＊欧州経済低迷や商品絞り込みなどによるHMの減収に加え、
CEが減収となったことにより、全社では減収減益。

（億円）

		売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	為　替
1Q	’14/3期	698	-10	-16	-20	USドル：約 99 円 ユーロ：約 129 円
	’13/3期	731	20	16	9	USドル：約 80 円 ユーロ：約 103 円
	前期比	△33	△30	△32	△28	

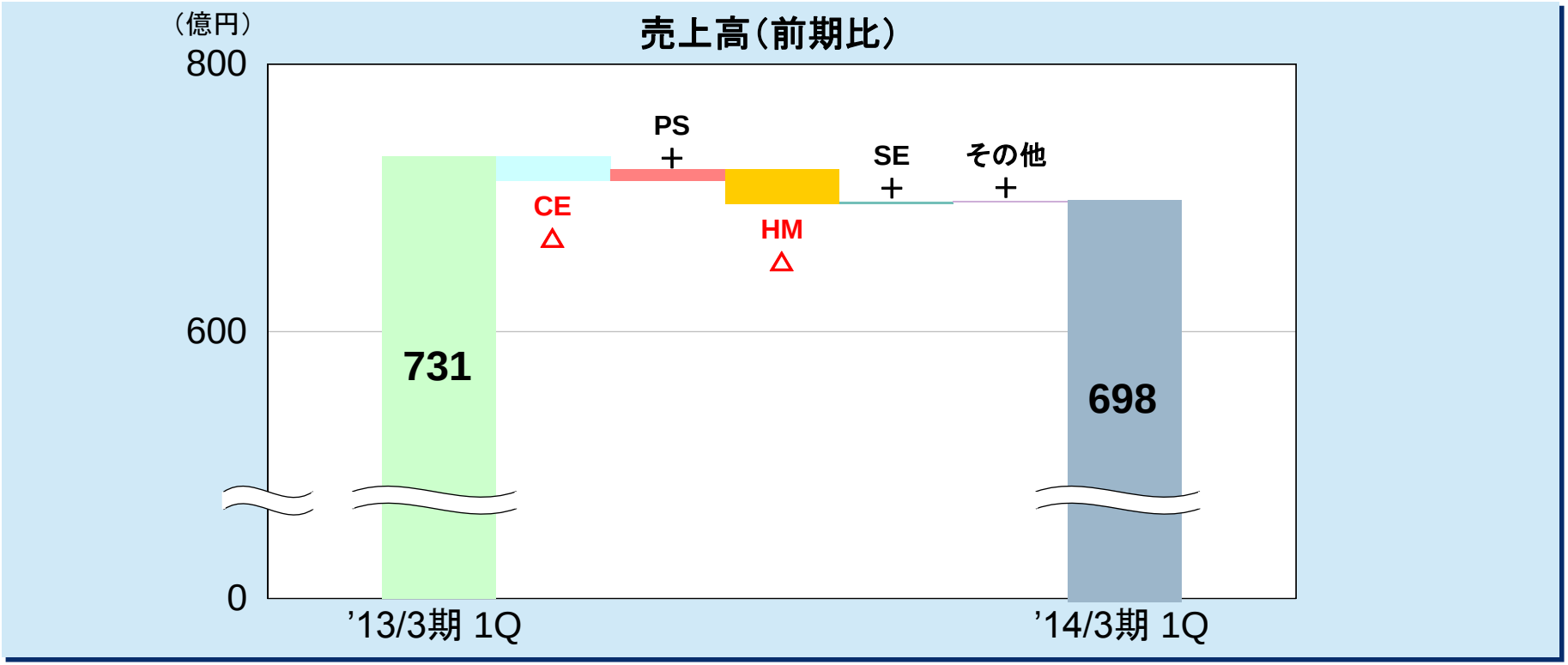
2014年3月期　第1四半期決算　連結売上高

JVC KENWOOD
creates excitement & peace of mind

1Q実績：698億円 （前期比4.5%減収）

＊全社売上高は、円換算額の増加があったが、欧州経済低迷、
商品絞り込みなどによるHMの減収、CEの減収などにより減収。

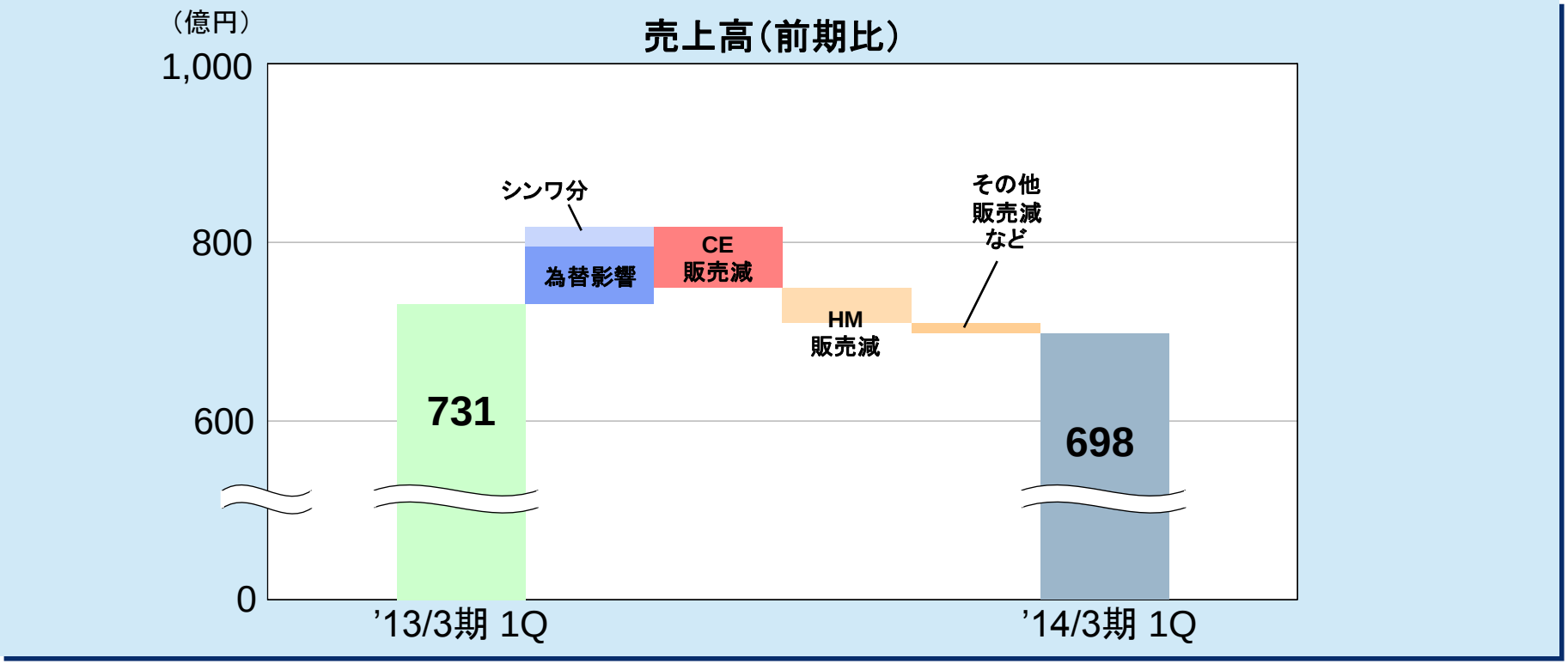
＊PSは、前年のタイ洪水影響がなくなり、BSが回復したことから増収。
SEは引き続き堅調に推移。



2014年3月期　第1四半期決算　連結売上高（増減分析）

JVC KENWOOD
creates excitement & peace of mind

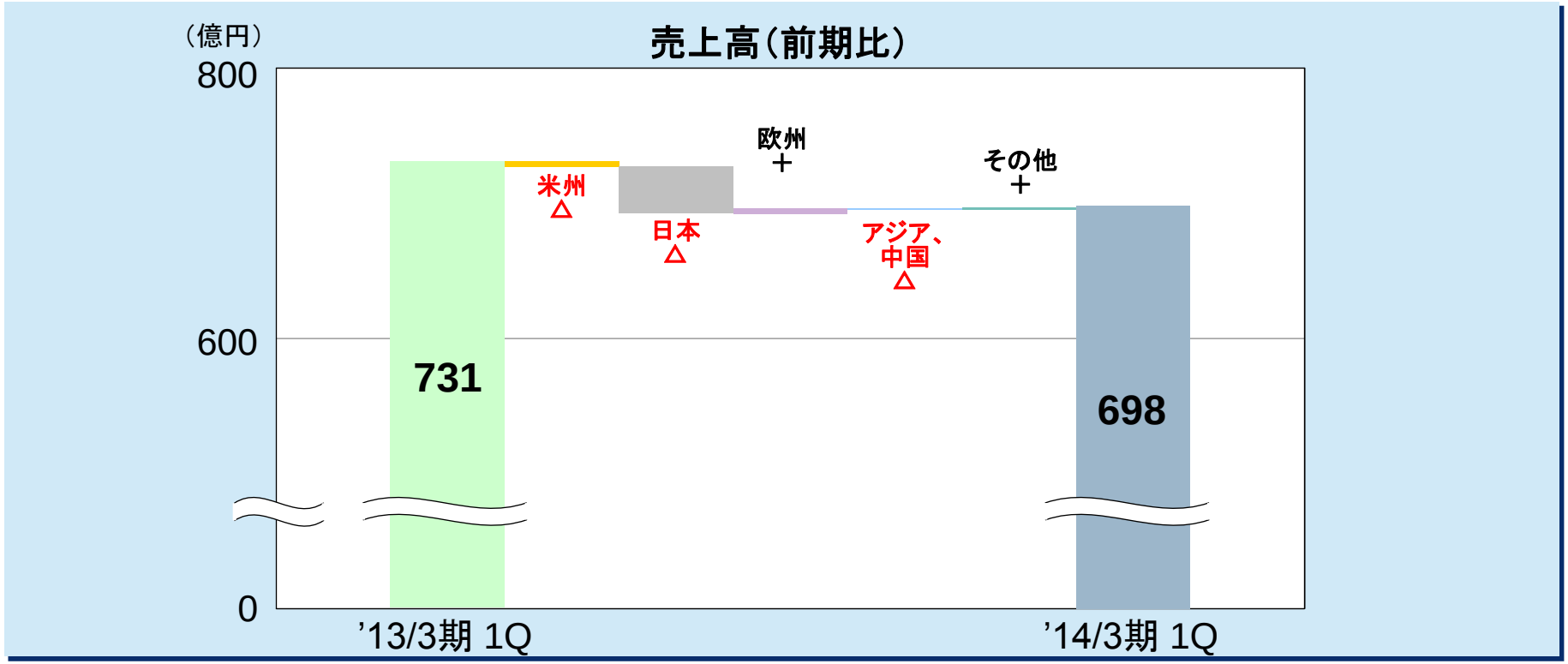
＊CEの販売減、欧州経済低迷や商品絞り込みによるHMの販売減が主な減収要因。



2014年3月期　第1四半期決算　地域別売上高（参考）

JVC KENWOOD
creates excitement & peace of mind

＊米州は、HMのカムコーダー低迷の影響から減収。
＊日本は、CEOEM、HMが苦戦した影響から減収。
＊欧州は、円換算額の増加から増収も、現地通貨ベースでは減収。
＊アジア・中国は、CE市販苦戦の影響から、減収。



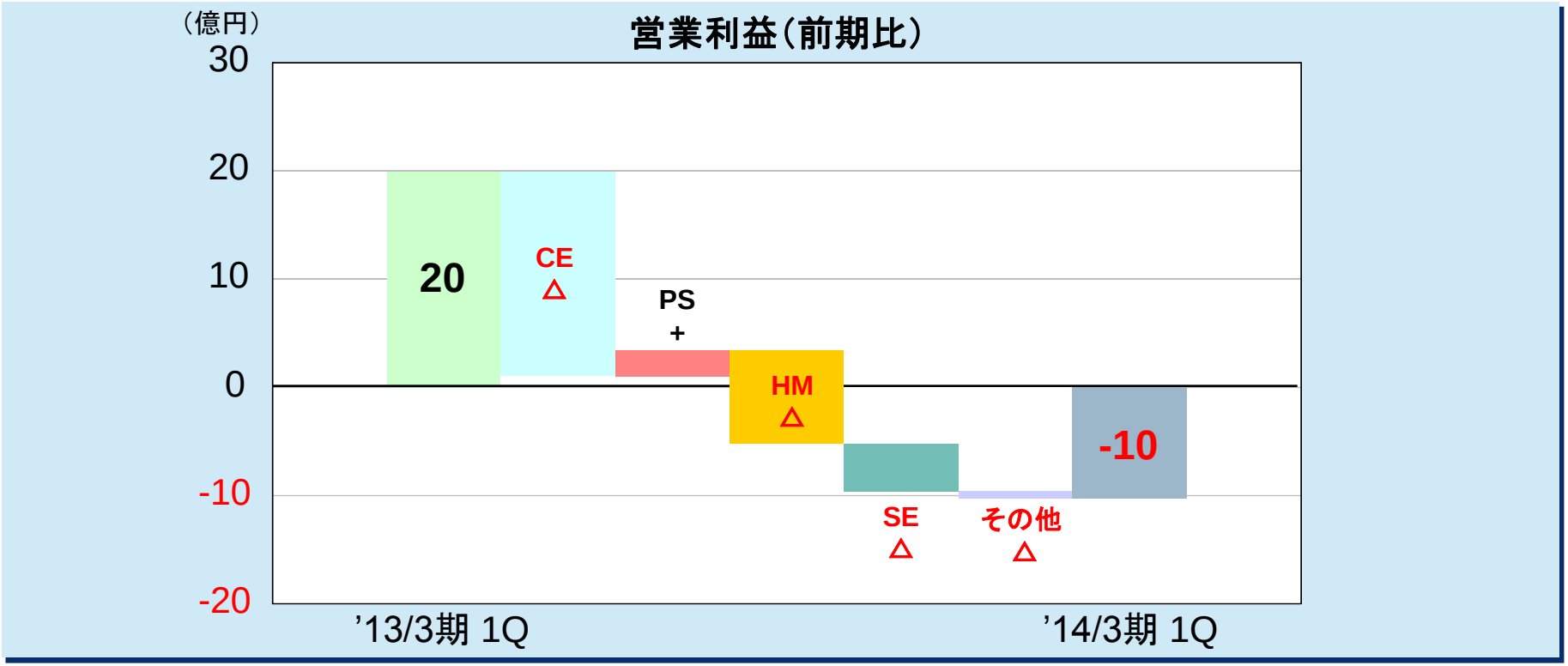
2014年3月期　第1四半期決算　連結営業利益

JVC KENWOOD
creates excitement & peace of mind

1Q実績：－10億円　（前期比30億円減益）

＊全社営業利益は、欧州・アジア経済低迷の影響によりCEが大幅減益、HMも為替変動の影響を受け減益となったことなどから、減益。

＊PSは、前年のタイ洪水による一時的なコスト増がなくなり、損失減少。

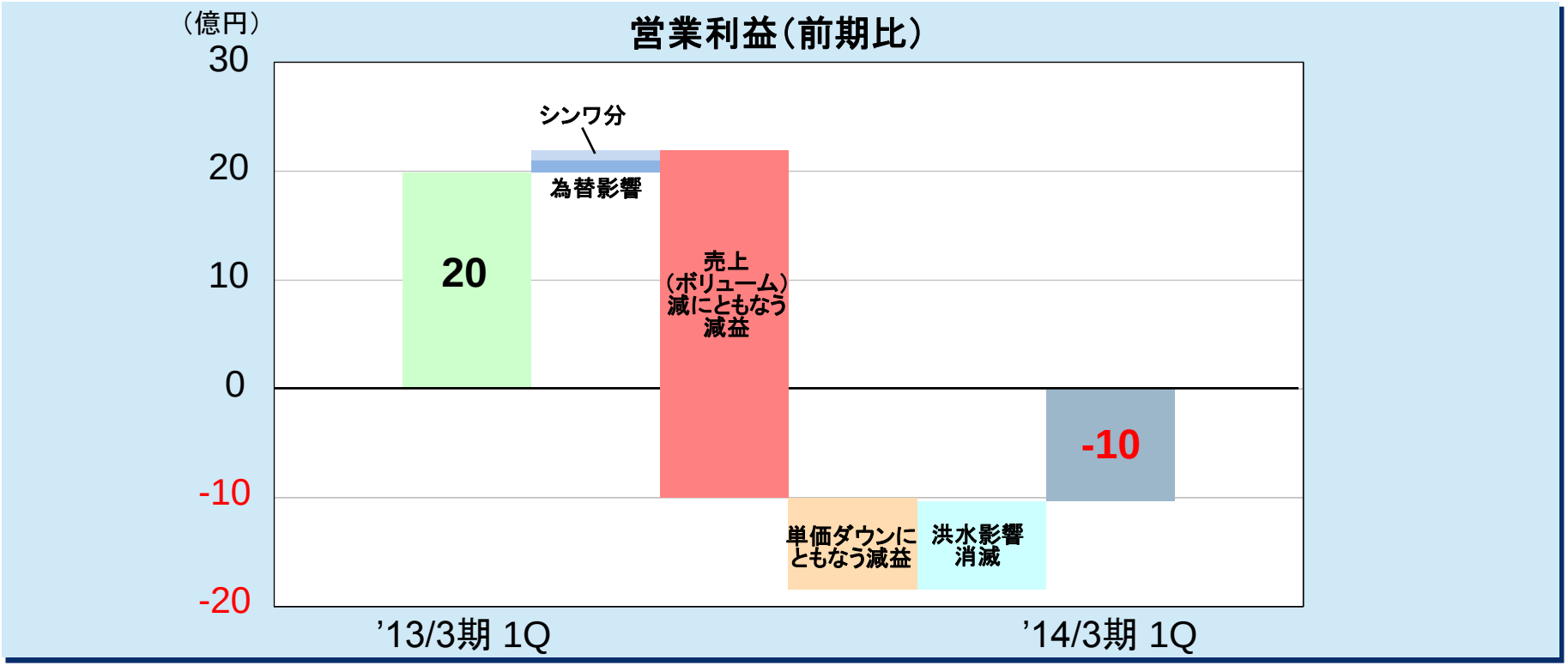


2014年3月期　第1四半期決算　連結営業利益（増減分析）

JVC KENWOOD
creates excitement & peace of mind

＊欧州・アジア経済低迷の影響、為替変動の影響を受けたCEの販売減、為替変動による原価上昇の影響を受けたHMの販売減などが主な減益要因。

＊タイ洪水影響の消滅にともない、PSの損失は減少。



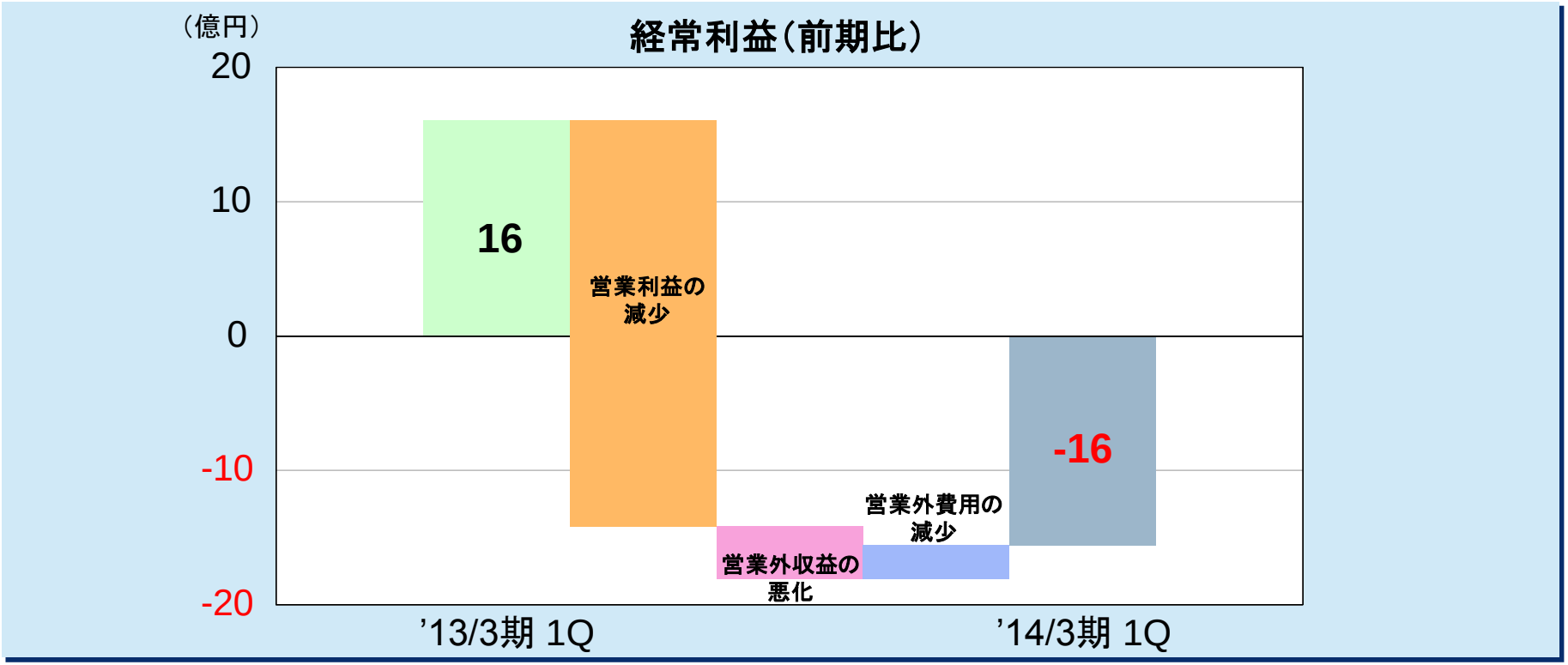
2014年3月期　第1四半期決算　連結経常利益

JVC KENWOOD
creates excitement & peace of mind

1Q実績：－16億円 （前期比32億円減益）

＊営業利益の減少により、前期比32億円減。

＊営業外収支は、金融収支が改善したものの、為替差益の減少などにより悪化。



2014年3月期　第1四半期決算　連結四半期純利益

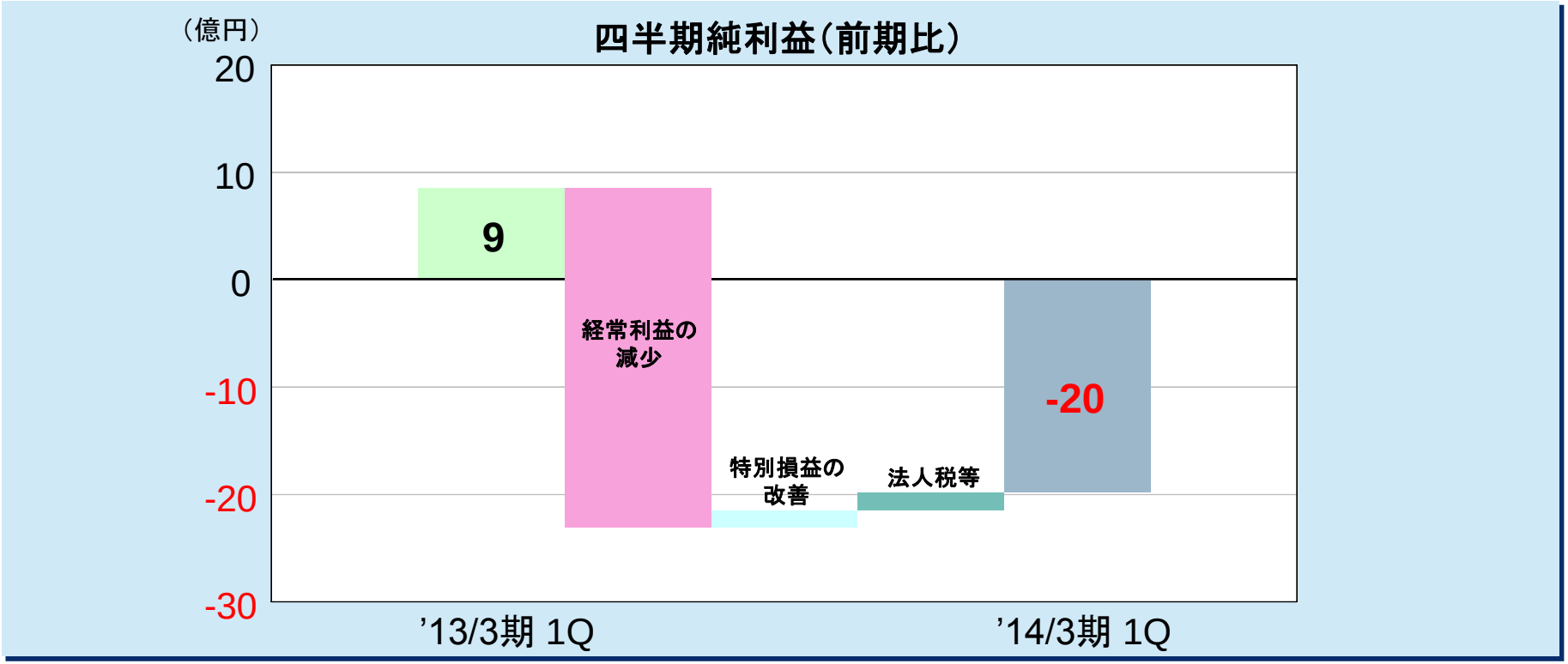
JVC KENWOOD
creates excitement & peace of mind

1Q実績：－20億円　（前期比28億円減益）

＊経常利益の減少により、前期比28億円減。

＊特別損益は、一部海外販売会社で構造改革費用が発生したものの、シンワ子会社化にともなう負ののれんの発生により改善。

＊法人税等は、前期比2億円減少。



2014年3月期　第1四半期決算　財政状態

JVC KENWOOD
creates excitement & peace of mind

バランスシート

＊総資産は、受取手形及び売掛金は減少したものの、たな卸資産の増加に加え、シンワの子会社化により有形固定資産などが増加したことから、前期末比で約28億円増。

＊負債は、未払費用の減少、支払手形及び買掛金の減少により、前期末比12億円減。
有利子負債は運転資金を銀行借り入れにより実行したことから、前期末比5億円増。
ネットデットはシンワの子会社化により、前期末比4億円減。

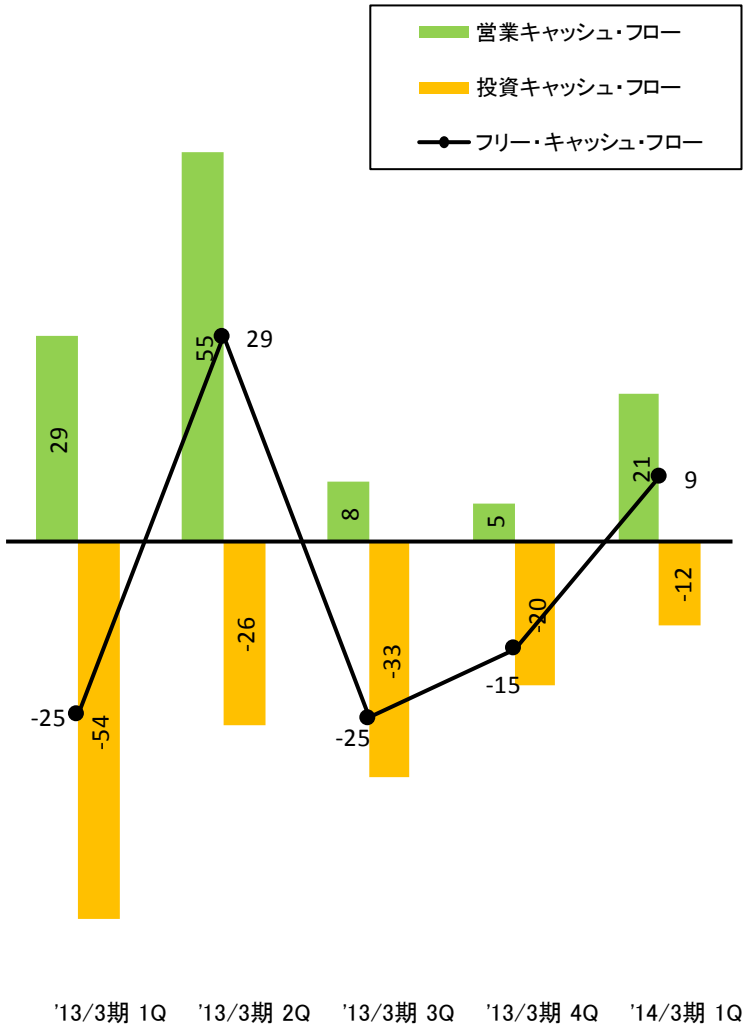
＊利益剰余金は前期末比27億円減、株主資本合計も前期末比27億円減。
純資産合計は、為替換算調整勘定や少数株主持分の増加により前期末比40億円増。
自己資本比率は、前期末比で0.7%減少し、25.9%。

（億円）

	'13/3期末	'14/3期 1Q末	前期末増減
総資産	2,466	2,494	+28
有利子負債	865	870	+5
ネットデット	287	283	△4
ネットD／Eレシオ（倍）	0.44	0.44	±0
資本剰余金	459	459	±0
利益剰余金	247	220	△27
純資産	672	712	+40
自己資本比率（%）	26.6	25.9	△0.7

2014年3月期　第1四半期　連結キャッシュ・フロー計算書

（億円）



	'14/3期 1Q	'13/3期 1Q
税金等調整前四半期純損益	−16	14
減価償却費	27	24
退職給付引当金の増減	8	12
売上債権の増減	120	88
たな卸資産の増減	−17	−28
仕入債務の増減	−68	−11
未払費用の増減	−28	−80
法人税等の支払	−4	−9
その他	−2	18
営業キャッシュ・フロー	21	29
投資キャッシュ・フロー	−12	−54
財務キャッシュ・フロー	−18	−38
現金及び現金同等物に係る換算差額	11	−17
フリー・キャッシュ・フロー	9	−25

現金及び現金同等物の増減	1	−80
現金及び現金同等物の残高	583	575
ネットデット残高	−283	−316

JVC KENWOOD
creates excitement & peace of mind

セグメント別情報

セグメント別売上高および損益　サマリー

JVC KENWOOD
creates excitement & peace of mind

CE:　市販、OEMともに販売が振るわず、減収減益

PS:　BSのタイ洪水影響消滅、COMの国内新規受注の増加、為替変動による円換算額増加もあったことから、PS全体では増収、損益改善。

HM:　欧州・国内販売悪化、一部商品の絞り込みの影響から、減収減益

SE:　ソフトビジネスが堅調に推移するも、受託ビジネスが悪化し減益

（百万円）

セグメント		第1四半期			通期
		'14/3期	'13/3期	前期比	'13/3期
カーエレクトロニクス	売上高	25,215	27,062	△ 1,847	100,548
（CE）	営業利益	-336	1,545	△ 1,881	2,494
業務用システム	売上高	20,885	20,015	+870	91,830
（PS）	営業利益	-89	-329	+240	4,020
ホーム＆モバイルエレクトロニクス	売上高	13,523	16,142	△ 2,619	68,793
（HM）	営業利益	-787	78	△ 865	1,053
エンタテインメント	売上高	9,057	8,917	+140	40,858
（SE）	営業利益	263	701	△ 438	2,044
その他	売上高	1,126	986	+140	4,550
	営業利益	-80	-9	△ 71	-9
合計	売上高	69,808	73,124	△ 3,316	306,580
	営業利益	-1,030	1,987	△ 3,017	9,603

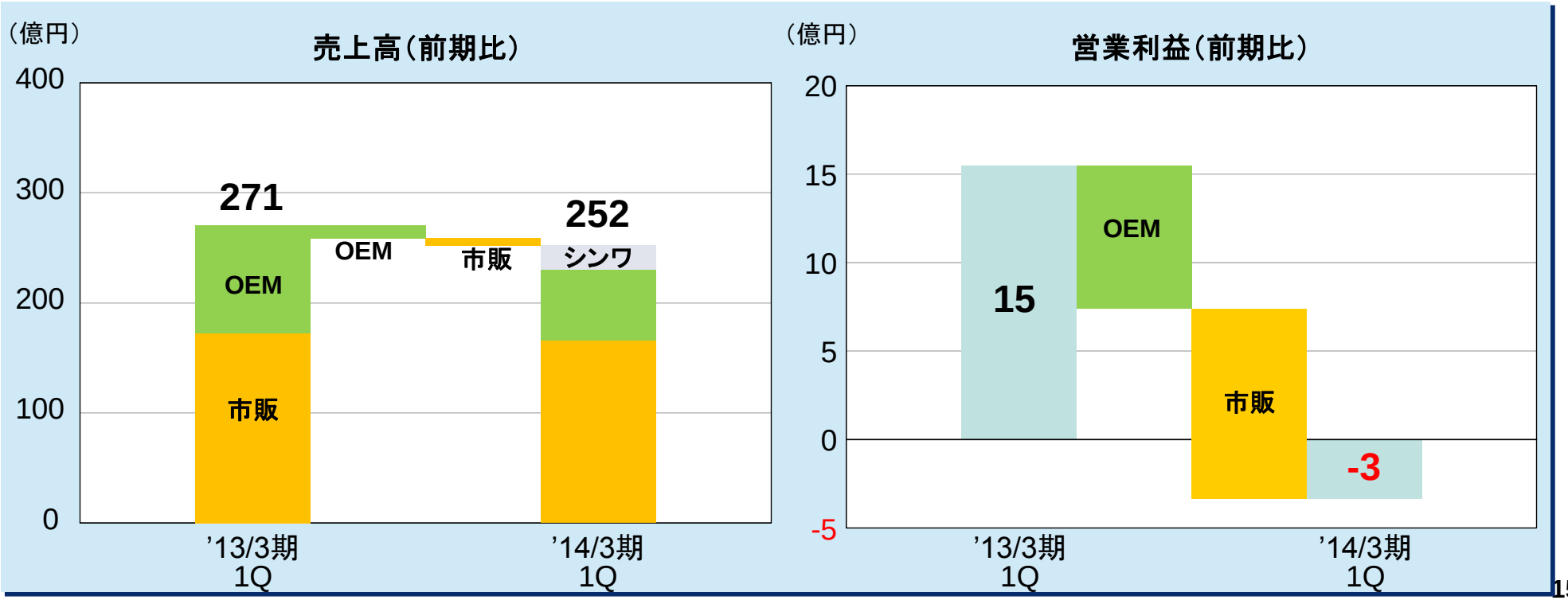
2014年3月期　第1四半期決算　カーエレクトロニクス事業

JVC KENWOOD
creates excitement & peace of mind

売上高：252億円（△6.8%）　営業利益：－3億円（△19億円）

市販：　国内では「彩速ナビ」の販売が堅調に推移、海外ではディスプレイオーディオの販売が伸長したが、カーオーディオ販売が欧州・アジア経済低迷影響から低調となり、市販全体では減収。

OEM：　ディーラーオプションナビの減速などにより減収。



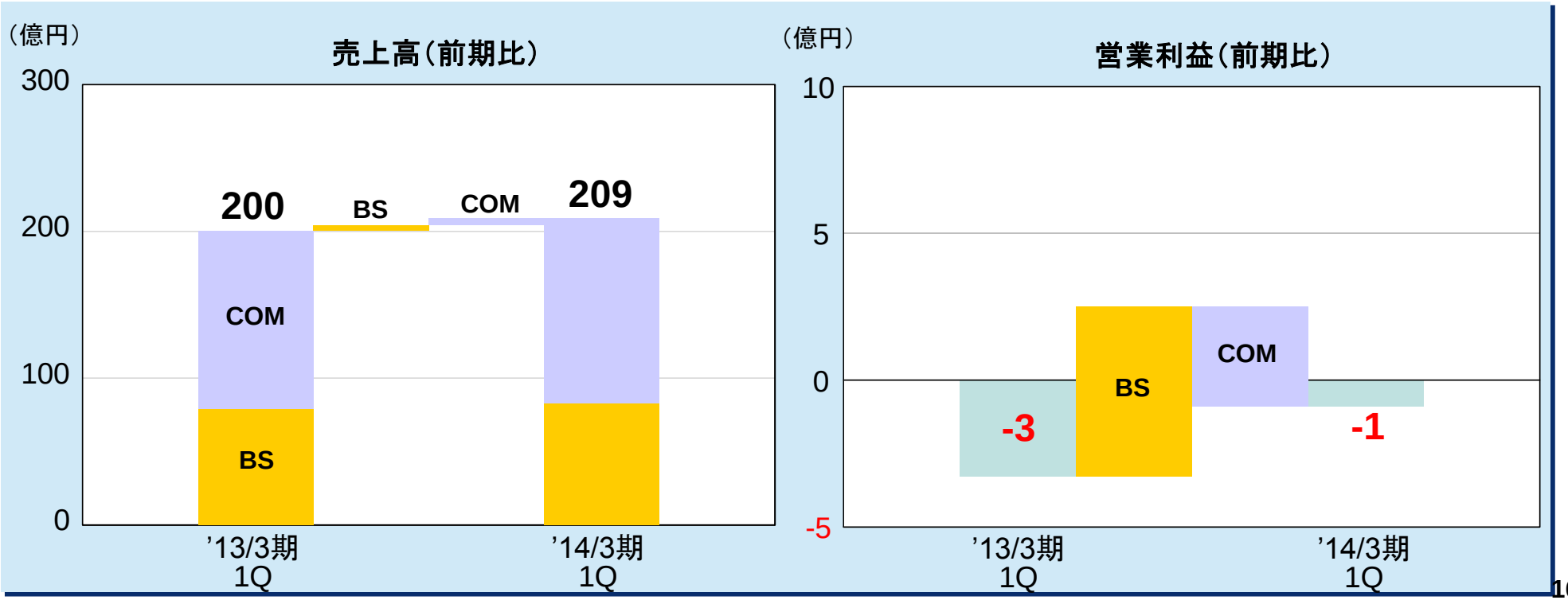
2014年3月期　第1四半期決算　業務用システム事業

JVC KENWOOD
creates excitement & peace of mind

売上高：209億円（＋4.3%）　営業利益：－1億円（＋2億円）

COM：北米が政府緊縮財政の影響などを受けたが、国内向け新規受注増、為替変動による円換算額増加などから増収。

BS：　タイ工場生産の平常化、国内を中心とした販売回復により増収。

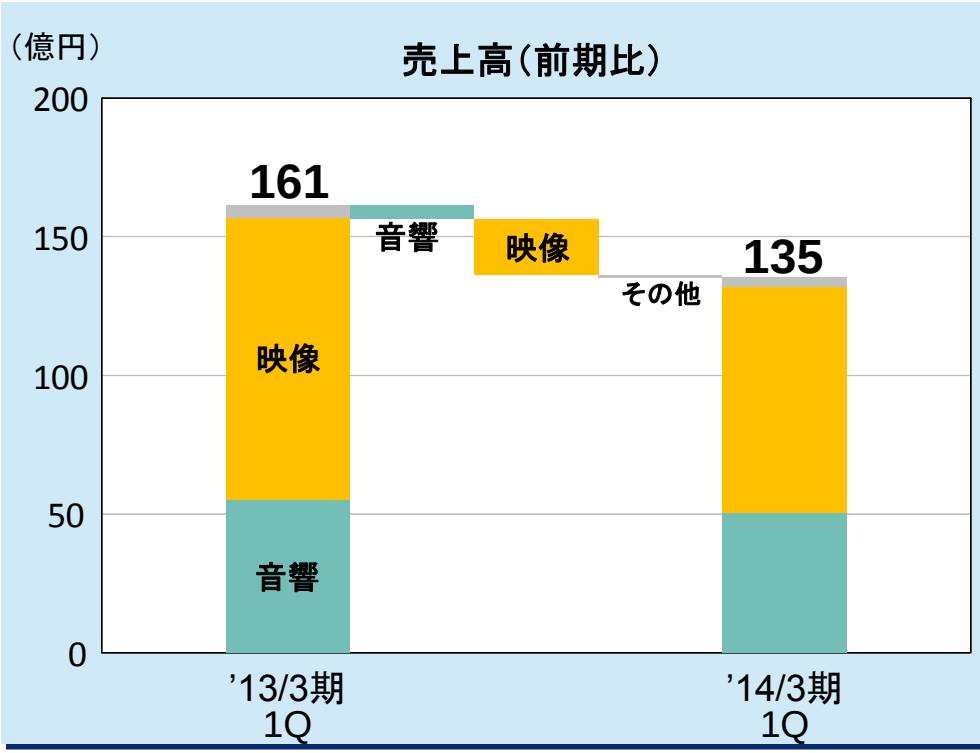


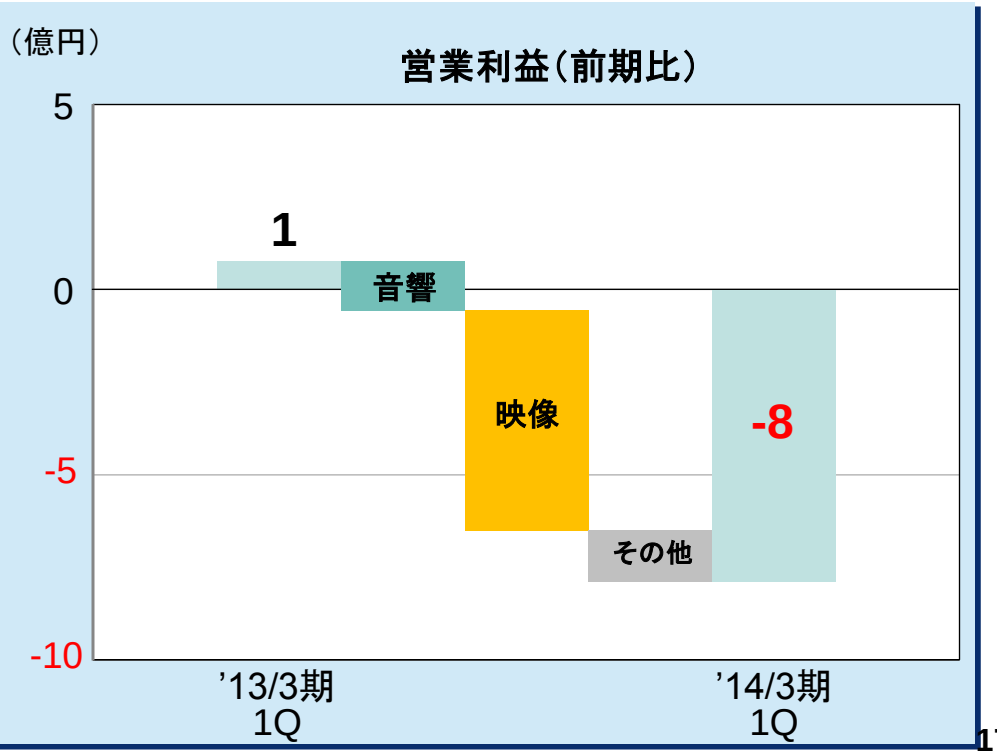
2014年3月期　第1四半期決算　ホーム＆モバイルエレクトロニクス事業

売上高：135億円（△16.2%）　営業利益：－8億円（△9億円）

音響：AVアクセサリーは日米で好調に推移し増収も、ホームオーディオが市場縮小の影響を受けたことから、音響全体では減収。
ホームオーディオは、商品構成の改善をはかったことから、損益は改善。

映像：プロジェクターは販売拡大により増収となったが、カムコーダーが欧州経済悪化などにより減収となり、映像全体では減収。





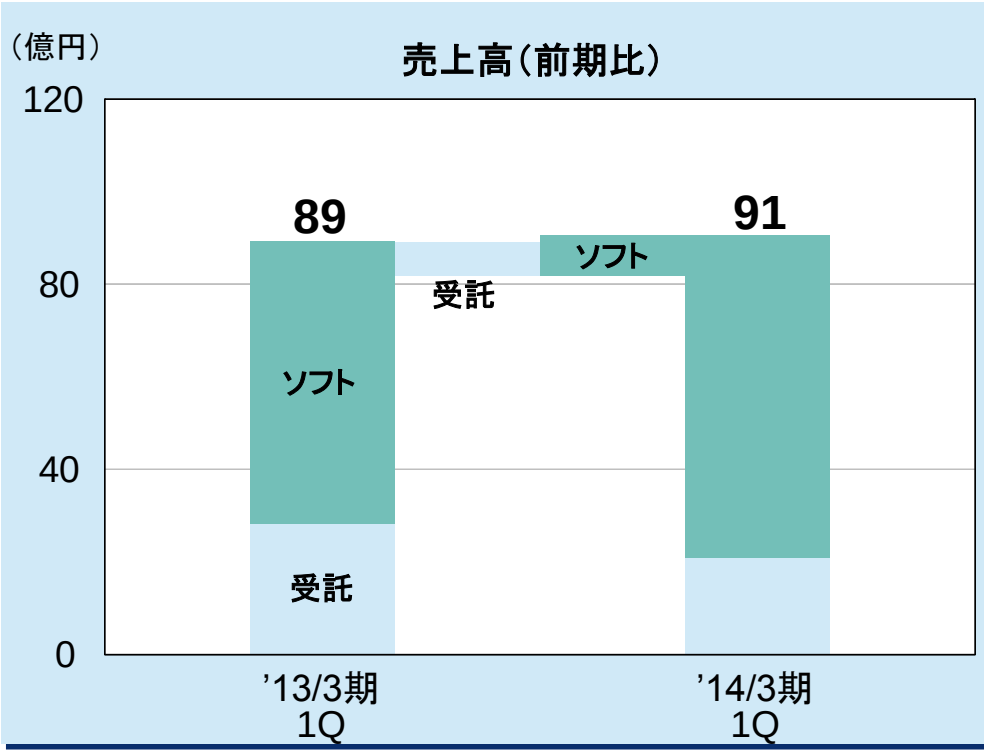
2014年3月期　第1四半期決算　エンタテインメント事業

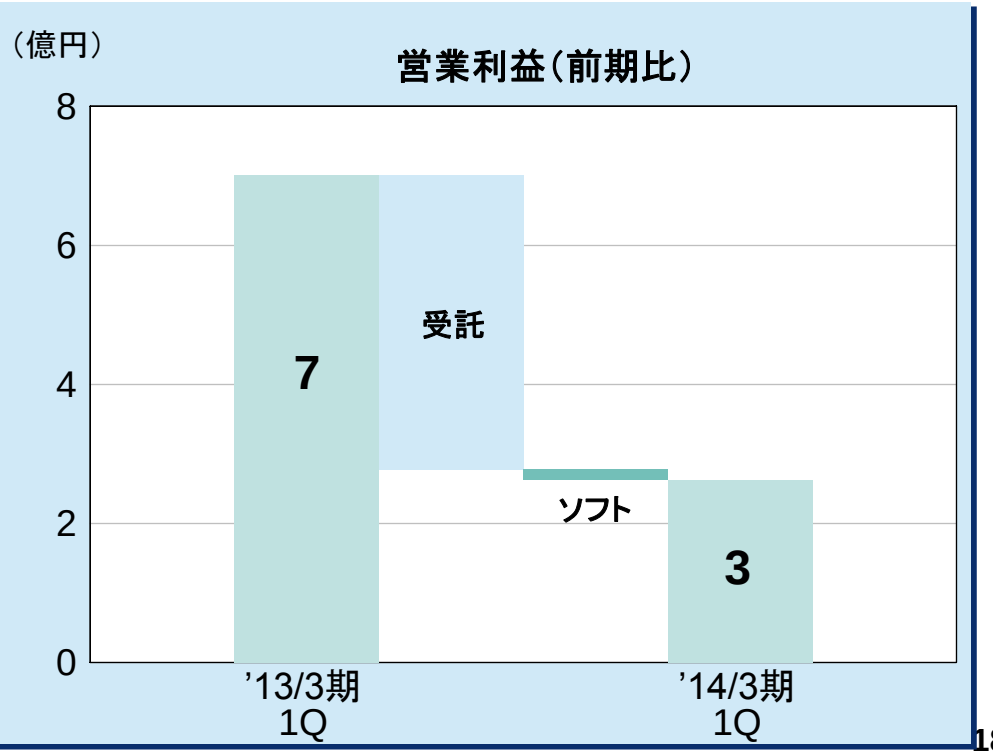
JVC KENWOOD
creates excitement & peace of mind

売上高：91億円（＋1.6%）　営業利益：3億円（△4億円）

ソフト：新人、中堅の作品群がCMタイアップやテレビ番組主題歌採用の効果などにより好調に推移。

受託：国内、米州の光ディスク生産が低調となり、減収。





JVC KENWOOD
creates excitement & peace of mind

第2四半期以降の主な取り組み

JVC KENWOOD
creates excitement & peace of mind

【国内】

第26回　日刊自動車新聞用品大賞

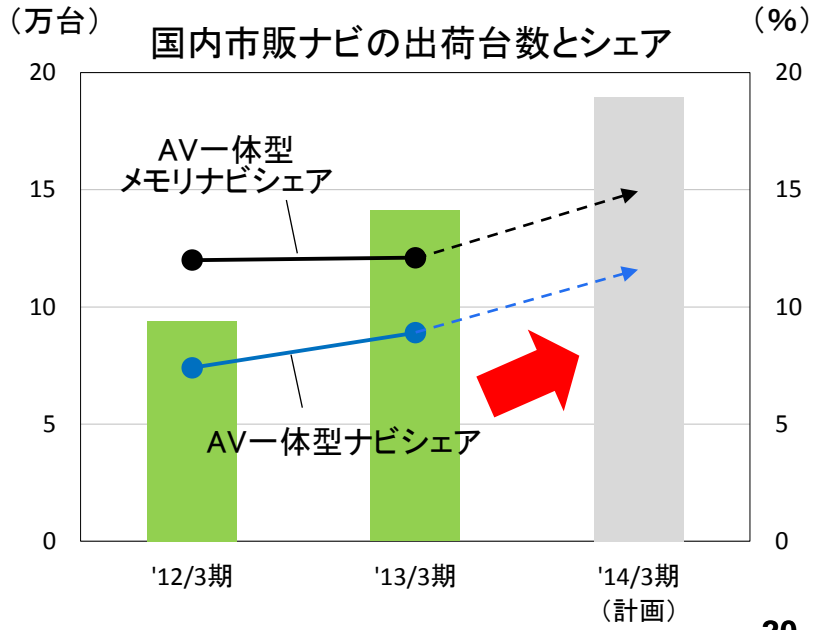
カーナビゲーション部門賞受賞　「彩速シリーズ」

- 各メディアへの露出増をはかり、
  夏商戦、催事での実売アップにつなげる



4チューナー＆4ダイバシティ方式地上デジタルTVチューナー内蔵
DVD/USB/SD/BT AVナビゲーションシステム

MDV-Z700W



2014年3月期　第2四半期以降の取り組み　CE市販

JVC KENWOOD
creates excitement & peace of mind

【海外】

● 海外先進国市場への対応

海外先進国市場では、トップシェアの維持をはかるとともに、接続性、安全性各要素での新規提案をもとに、新しいモビリティライフを提案する

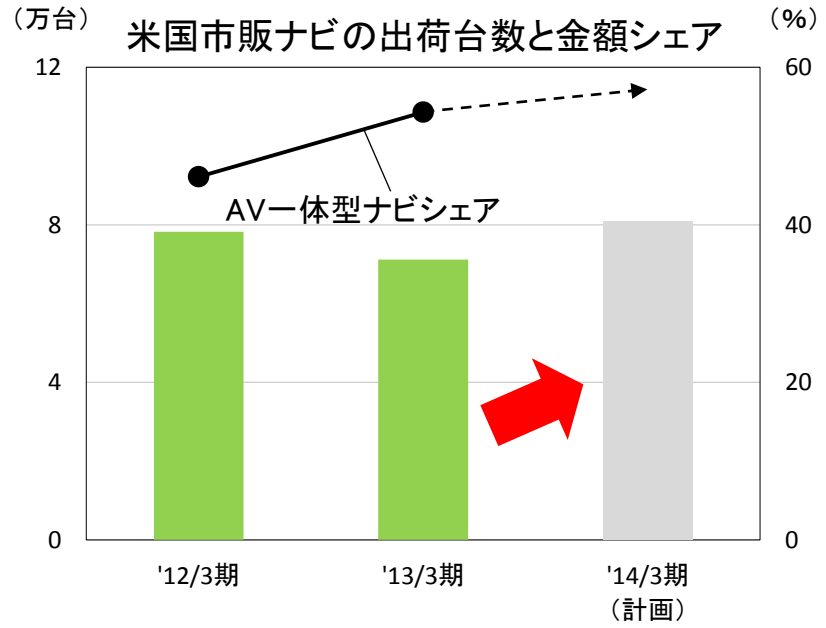
スマホ関連、ディスプレイオーディオなど
高付加価値の提案、商品ラインナップの見直し

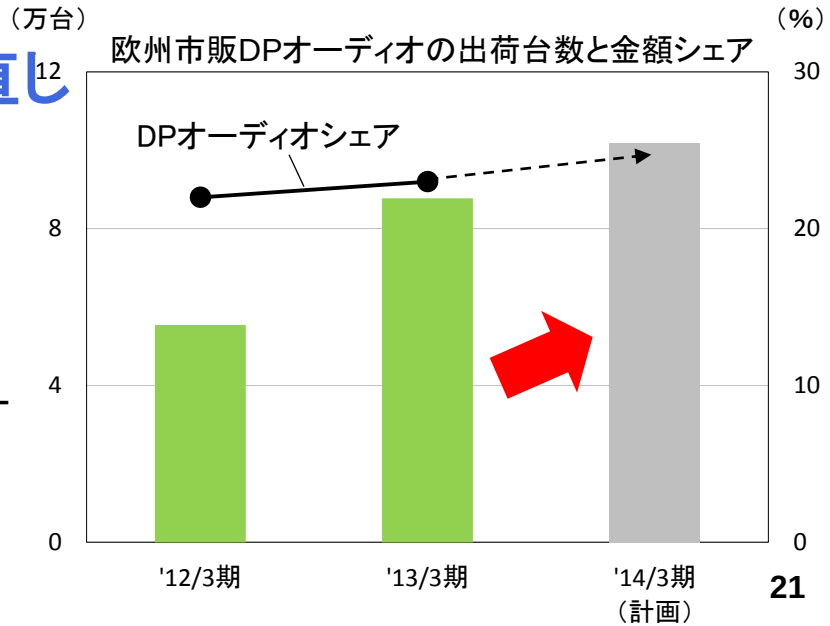


海外向けディスプレイオーディオ

●コスト構造の見直し

低価格化への対応として、
徹底的なコスト構造の見直しを実施し、
設計改革など事業構造改革を推進する

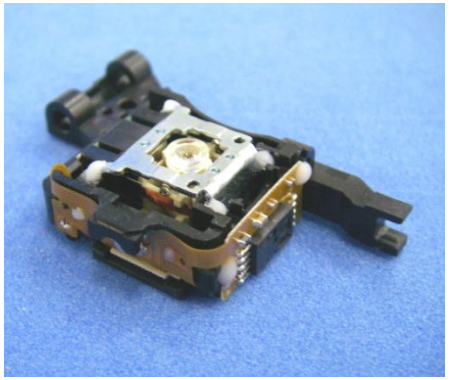




2014年3月期　第2四半期以降の取り組み　CEOEM

JVC KENWOOD
creates excitement & peace of mind

- 大画面サイズ国内ディーラーオプションナビの拡販
- 「彩速ナビ」を活用した自動車メーカー向けAV一体型カーナビゲーションシステムの拡販
- 戦略メカを主としたデバイスビジネスの強化
- グローバル生産体制の見直し



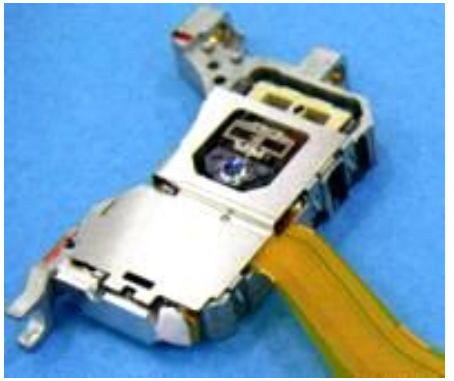
新開発CD光ピックアップ



1Qより納品を開始したディーラーオプションナビ



「彩速ナビ」を活用したディーラーオプションナビ



新開発DVD光ピックアップ

JVC KENWOOD
creates excitement & peace of mind

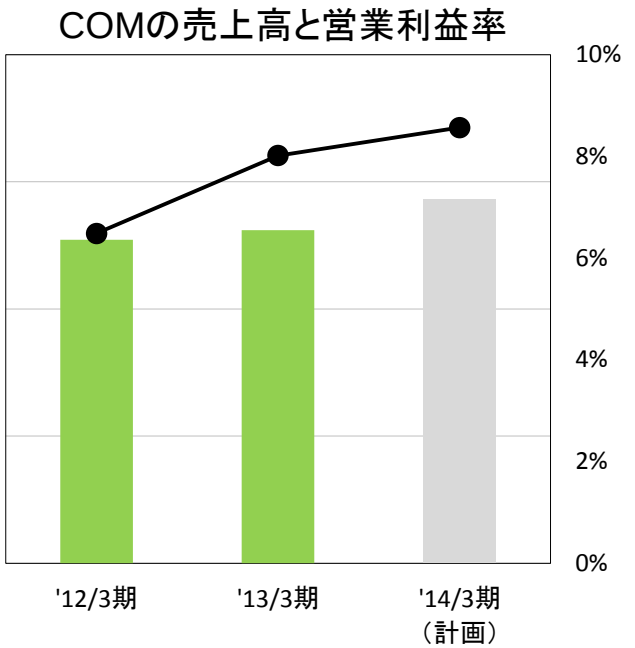
【さらなる収益上乗せ／収益基盤の確立】

【米州】

- デジタル業務用無線機「NEXEDGE」のローティア機の投入
- P25（公共安全向けデジタル無線機）新商品の導入



全世界向け
ローティアデジタル機



【欧州】

- デジタル業務用無線機「NEXEDGE」の欧州防爆規格対応商品の導入



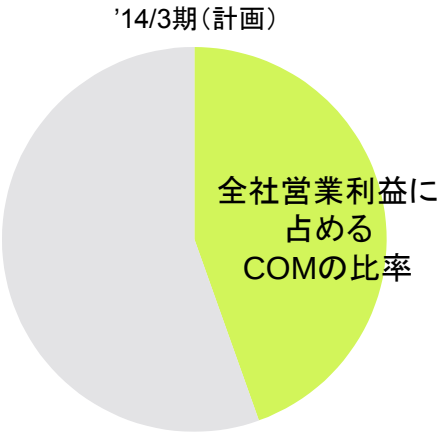
欧州防爆規格対応
デジタル業務用無線機
「NEXEDGE」

【アジア・中国】

- 中国専用公共安全向けデジタル無線機の拡販
- デジタル業務用無線機「NEXEDGE」のローティア機の投入



中国向け
デジタル無線機

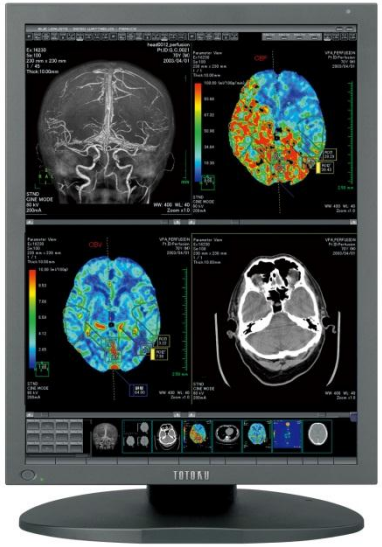


2014年3月期　第2四半期以降の取り組み
プロフェッショナル＆ヘルスケア

JVC KENWOOD
creates excitement & peace of mind

- グローバルでのヘルスケア事業強化による新たなビジネス創造
- IPカメラを核に市街監視、商用施設向けなどソリューション事業強化
- 業務用ビデオカメラ ベーシックモデル新商品を中心に、
  新興国を含め全世界で拡販











オーディオ

【ヘッドホン】

- 専用モデルで新興国での販売拡大と高付加価値モデルによる単価アップ



香港・中国向け
ヘッドホン



プラスXアワードを受賞した
"ésnsy（エッセンシー）"

【ホームオーディオ】

- ウッドコーン/Kシリーズ等の高付加価値モデルの拡充



ネットワーク再生対応ウッドコーン

映像・光学デバイス

【プロジェクター】

- 4Kプロジェクターの販売拡大



豊富なラインナップを揃える4Kプロジェクター

2014年3月期　第2四半期以降の取り組み　イメージング

JVC KENWOOD
creates excitement & peace of mind

●既存型商品（Everio）のコスト力強化

原価低減活動へ取組むとともに、新ASIC搭載モデルの投入と
モデル数削減により、低消費電力化と製造原価削減を実現



防水・耐衝撃・防塵・耐低音
スポーツカム「ADIXXION」
（市場想定売価3.5万円前後）
（7月より発売開始）

●新ジャンル商品の販売拡大

① 新たな用途で活きる高画質動画撮影の提案
② スマートフォンなどでは撮影できない使用環境下に
　向けた商品の提案
③ プロの要望に応える業務用ビデオカメラの拡大

【新ジャンル商品群】



スポーツコーチング用途に
向けたHDメモリーカメラ
「Procision」
（市場想定売価13万円前後）
（今期1Qより販売済み）



業務用HDメモリーカメラ
「ProHD」
（市場想定売価60万円前後）
（前期より販売済み）

第2四半期　期待の作品

サザンオールスターズ

シングル『ピースとハイライト』

NHK朝の連続テレビ小説「あまちゃん」

アルバム『あまちゃん・ぶらばん～公式版 吹奏楽「あまちゃん」曲集』

怒髪天

シングル『団地でDAN！DAN！』

BEGIN

BOXセット『ビギンの一五一会 10周年記念BOX』

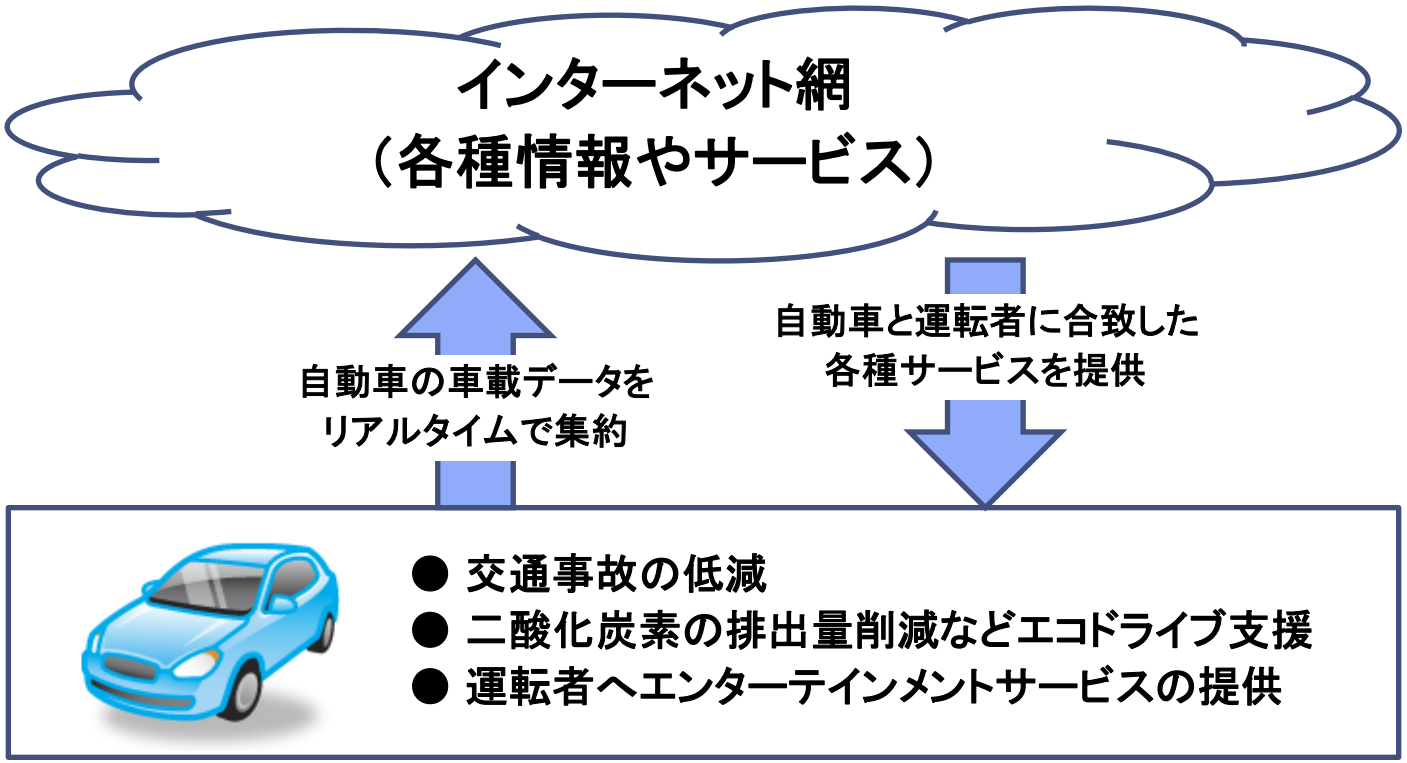
JVC KENWOOD
creates excitement & peace of mind

第1四半期の主なトピックス

JVC KENWOOD
creates excitement & peace of mind

ゼットエムピー社と合弁会社を設立（2013年7月18日発表）

自動車をオープンなインターネット環境に接続することで、様々なサービス提供を実現するための技術の確立と事業化を目指す



CarTomo

株式会社カートモ
ロゴマーク

JVC KENWOOD
creates excitement & peace of mind

革新的先進運転システム（i-ADAS）タスクフォースの新設

i-ADAS：innovative Advanced Driver Assistance System

ヘッドアップディスプレイ事業や自動車の自動運転事業など、新たな成長領域の早期事業化を目的として設置

革新的先進運転システム（i-ADAS）タスクフォース

自動運転事業統括部	車両情報（CAN）事業統括部	センシングデバイス事業統括部	車載ディスプレイ事業統括部
			
自動車の自動運転	CANデータによる運転支援	撮像技術を活かした車載カメラ	安全運転にも寄与するヘッドアップディスプレイ

JVC KENWOOD
creates excitement & peace of mind

シンワを連結子会社化　（2013年6月3日付）

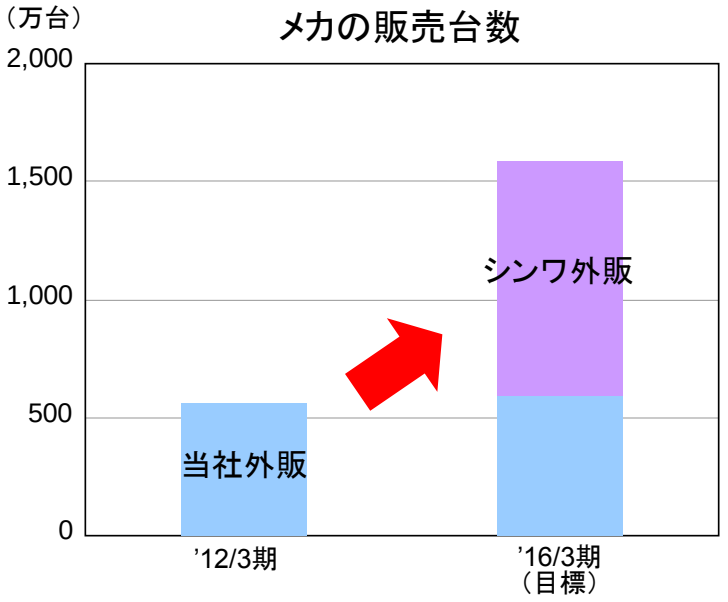
車載機器用光ディスクドライブメカニズムにおけるシナジー効果創出と水性塗装樹脂パネルの事業拡大を目指す









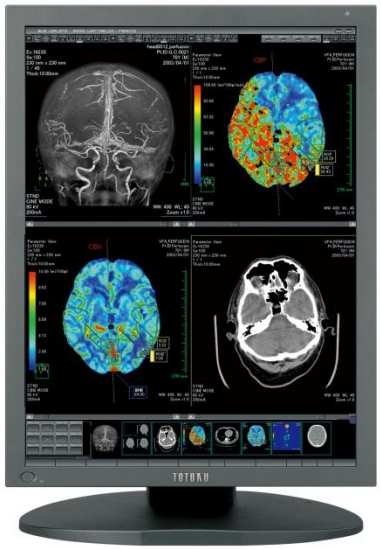


JVC KENWOOD
creates excitement & peace of mind

東特長岡を連結子会社化　（2013年7月1日付）

（新社名・・・JVCケンウッド長岡）

医用分野への本格参入と映像技術におけるシナジー効果創出をねらう

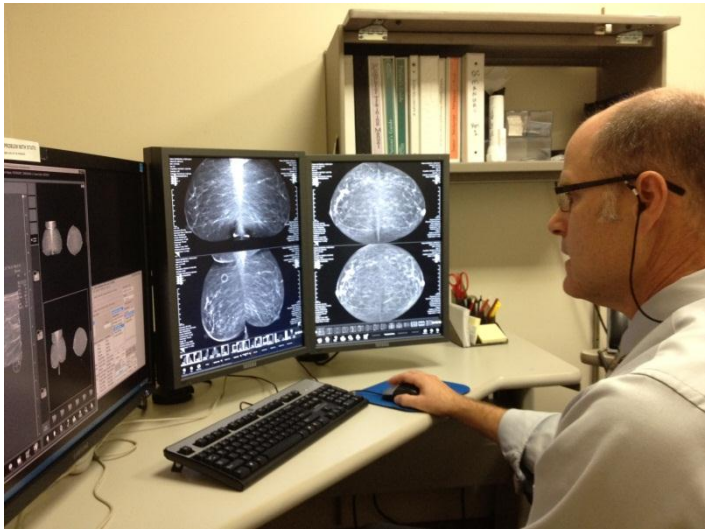


医用画像表示用ディスプレイ



販路の活用が期待される
デジタルワイヤレスインターカム



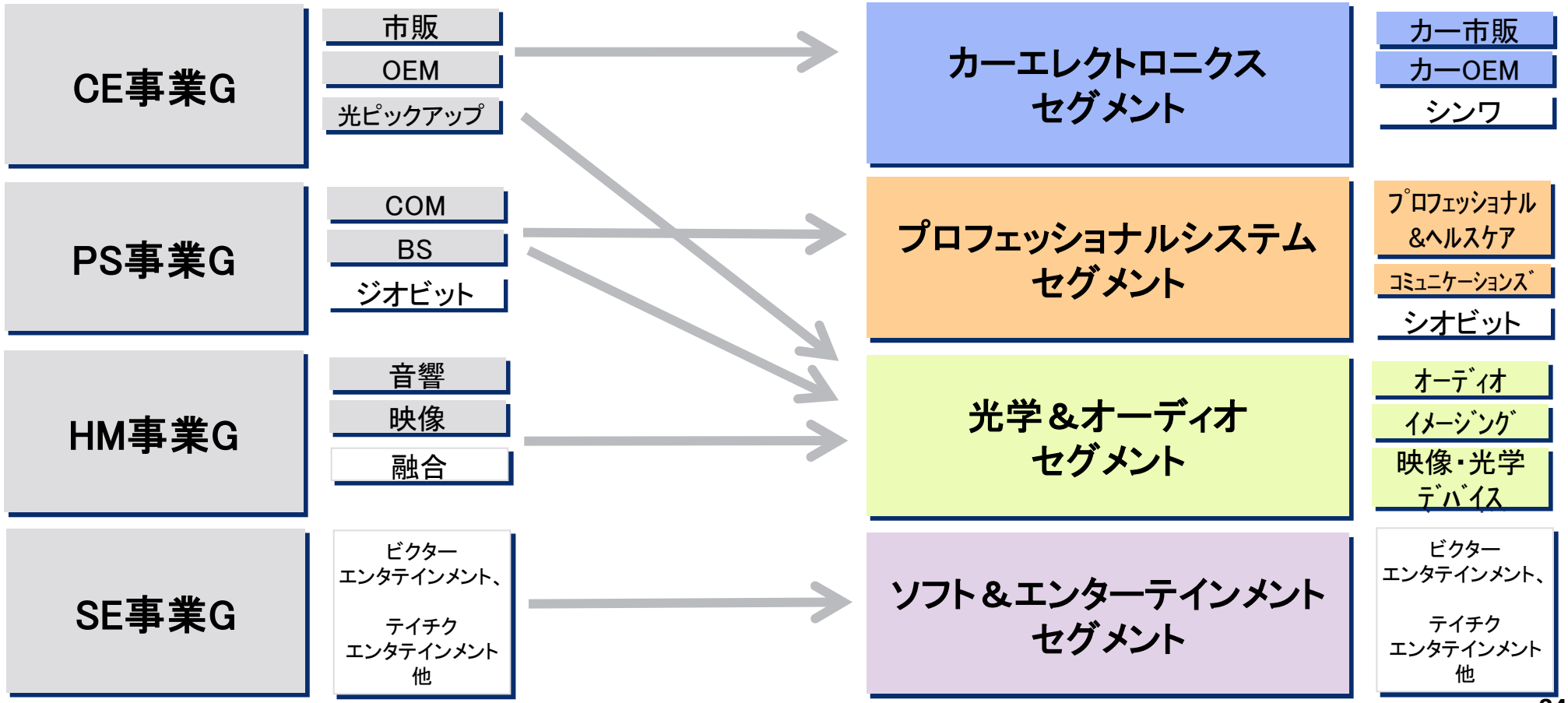


JVC KENWOOD
creates excitement & peace of mind

新セグメントの導入と2014年3月期業績予想

新セグメントについて

- リソースの一元化 （光学・オーディオ事業）
- 民生から業務用への市場変化に合わせた事業体のくくりの変更
- 当社の強みである光学事業強化および成長事業であるヘルスケアへの参入



新セグメントについて

JVC KENWOOD
creates excitement & peace of mind

生産・開発リソースのシフトによって、
B to Bビジネス
（CE OEM＋プロフェッショナルシステム）
の強化を加速する。

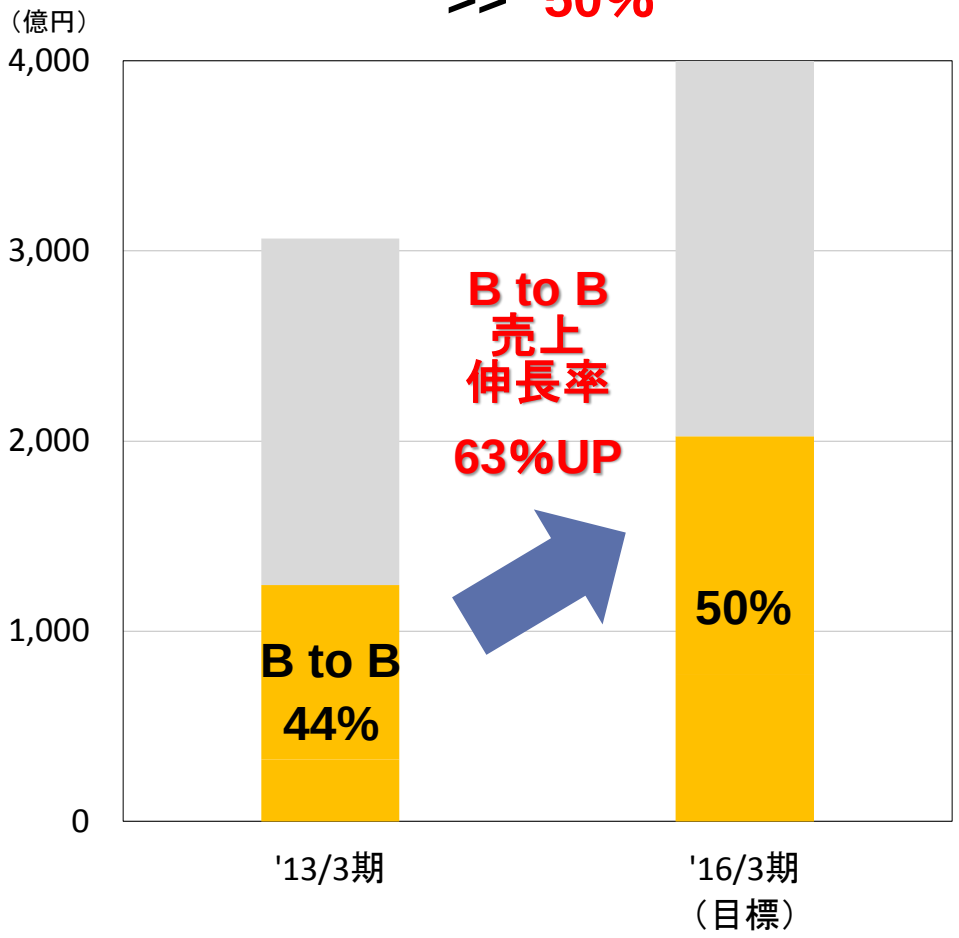








’16/3期　B to B売上構成比目標
>>　50%



2014年3月期　通期業績予想

JVC KENWOOD
creates excitement & peace of mind

- 1QはSE以外の3事業が想定に届かず、全社売上高、営業利益、経常利益、四半期純利益とも想定を下回る。
- 2Q以降は、欧州の先行きに不透明感が残るものの、COMのデジタル新商品投入の前倒し、CE国内市販の回復、開発・生産リソースの一元化による効率化、徹底的なコスト構造改革などによって業績回復が見込めることから、通期業績予想は据え置く。

（億円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	為　替※
’14/3期	3,300	110	60	30	USドル：約 100円 ユーロ ：約 128円
’13/3期	3,066	96	31	11	USドル：約 83円 ユーロ ：約 107円
前期比	＋234	＋14	＋29	＋19	

※ ’14/3期の為替レートは、期初の想定値です。
　’13/3期の為替レートは、4月～3月のレートを平均した参考値です。

JVC KENWOOD

creates excitement & peace of mind

このプレゼンテーション資料に記載されている記述のうち、将来を推定する表現については、将来見通しに関する記述に該当します。
これら将来見通しに関する記述は、既知または未知のリスクおよび不確実性並びにその他の要因が内在しており、実際の業績とは大幅に異なる結果をもたらす恐れがあります。これらの記述は本プレゼンテーション資料発行時点のものであり、経済情勢や市場環境によって当社の業績に影響がある場合、将来予想に関する記述を更新して公表する義務を負うものではありません。実際の業績に対し影響を与えうるリスクや不確実な要素としては、(1)主要市場(日本、米州、欧州およびアジアなど)の経済状況および製品需給の急激な変動、(2)国内外の主要市場における貿易規制等各種規制、(3)ドル、ユーロ等の対円為替相場の大幅な変動、(4)資本市場における相場の大幅な変動、(5)急激な技術変化等による社会インフラの変動、などがあります。ただし、業績に影響を与えうる要素としてはこれらに限るものではありません。